

1920 → 2020

# アントワープ大会から100年。 復興と再生への挑戦。

One Hundred Years from the 1920 Antwerp Olympics  
Striving for Restoration and Rebirth



©IOC

オリンピックにおいて日本が初めてメダルを獲得した記念すべき大会は1920年アントワープ大会でした。

第一次世界大戦、スペインかぜの世界的な流行を経て開催されたアントワープ大会は、オリンピックにおいて初めてとなる開会式でのオリンピック旗(オリンピック・シンボル)の掲揚、選手宣誓、放鳩が行われました。多くの困難を乗り越えて開催された大会において、開会式で行われたこれらのセレモニーには、どのような想いが込められていたのか、当時の出来事やエピソードから紐解きます。

それから100年、世界は今、新型コロナウイルス流行の最中にいます。2021年に開催が予定されている東京2020大会に向けて、アントワープ大会で示されたオリンピックの根源的な価値観について考えます。

会 期 2020年12月1日(火)～2021年2月末日

会 場 日本オリンピックミュージアム1階「WELCOME SALON」

開館時間 10:00～17:00 (最終受付16:00)

休館日 月曜日(月曜が祝日または休日の場合、翌平日休館)他、年末年始及び展示替期間等

入館料 一般 500円 シニア(65歳以上/証明書をご提示ください) 400円

高校生以下(学生証をご提示ください) 無料

主 催 公益財団法人 日本オリンピック委員会

後 援 ベルギー王国大使館

協 力 秩父宮記念スポーツ博物館、筑波大学、中京大学、Olympic Foundation for Culture and Heritage Sportimonium, Sports & Olympic Museum Belgium

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日時指定の事前予約制とさせていただきます。  
詳しくは公式サイトをご確認ください。

<https://japan-olympicmuseum.jp/jp/>

